

【 第4回中標津町まちづくり町民会議報告 】

日時：令和2年7月27日（月）19：00～21：00

場所：中標津町総合文化会館 コミュニティホール

出席者：22名（中標津まちづくり町民会議委員16名、
コンサルタント1名（㈱ぎょうせい）（Zoom 会議により）、事務局5名）

傍聴者：2名

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - （1）前回までの振り返り
 - （2）今後の進め方について
 - （3）その他
- 4 閉 会



[会長挨拶]

<配布資料>

- ・資料1 中標津町まちづくり町民会議検討進捗状況
- ・資料2 会議開催に関する等アンケート調査結果
- ・資料3 計画策定スケジュール

<会議結果報告>

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - （1）前回までの振り返り⇒[資料1](#)
事務局より資料に基づいて説明がありました。
 - （2）今後の進め方について⇒[資料2、3](#)
事務局より資料に基づいて説明がありました。（資料2、3）
以下話し合い内容



[会議風景]

会 長：今までの進め方について意見等あればということであるが、この場で話してもよい
か。

事務局：はい。

委 員：コロナの第3波が来たときは、また策定期間は延長になるのか。そうすると、3月
の議会定例会までに間に合わない。延長となった場合に、今までの会議の内容が白

紙になるのか、それとも期間の延長のみとなるのか、どのような方向性になるか。

事務局：今後のコロナの状況は読めないが、状況に応じて延長も考えざるを得ない。だが、何もなければ、年度内に完了したいと考えている。今後の進め方で時間が足りないなどあれば、弾力的に考えていきたいと思っている。

委員：話があったとおり、コロナの終息は未知数である。今回のように会場に集合しての会議もいつまでできるか未知数であるから、完全に WEB 会議として、最終的な結論を出すときには、少ない回数で会場に集まる形がいいのではないかなと思う。

事務局：事前のアンケート調査の結果でもあるとおり、WEB 会議については、対応は難しいと考えている。委員の中で WEB 会議ができる環境が整っている方は全体の 3 割程度しかいない。今後、コロナにより会議が開催できない状況が続けば、書面会議なども考えていかなければならないと思う。できる限りは、会場に集まって会議を開催する方向でいきたいと思っている。

委員：会議の中で委員同士の対話が少なかったと感じた。いきなり本題に入り、このメンバーで気軽な話しをすることなく進んでいた。都市計画マスタープラン策定委員会など、町民会議以外での町民の集まりに参加することで、様々な意見を吸収して、総合計画に反映させていければいいのではないかなと思う。もし、コロナの第 3 波が来たときは、家から参加できる方は WEB 会議での参加、そうではない方は会場を準備して集まるようなことを検討して、出来るだけみんなで集まって話せるように進めてほしいと思う。

事務局：対話が足りないというのは、事務局としても配慮が足りなかったと思う。回数が限られた状況の中であり、その結果が第 2、3 回の町民会議の内容だったと感じている。自主的に集まるなどのことであれば、会場などに対応できると思う。WEB 会議に関しては、WEB 会議として家から参加の方、別会場を設けて参加する方がいるが、その可能性については検討していけるのではないかなと思う。

会長：会議再開に向けてのアンケートをとったが、全体として事務局のコメントをお願いしたい。

事務局：会議の開催方法について確認をさせてもらった。WEB 会議の可能性について、全体の 3 割程度の方しか対応できないという結果が出た。それを踏まえ、複合的な開催方法など検討が必要と思った。また、自由意見の中でもあった今後の進め方について、委員同士の話す機会が少なかったことは反省点としてある。そのため、本日はみなさんからざっくばらんな意見をいただくために提案したところである。3 月を目途に進めていく予定であると話をしたところだが、委員の中の意見としてもっと話しがしたいなど策定期間を延ばす意見があれば、事務局としても無理に 3 月にこだわる必要はないことも視野には入れている。

委員：まず、名前が見えにくいので、もう少し工夫をしてもらいたい。今後もコロナの対応は続くと思うけれど、会議のあり方というのは変化していくのではないかなと思う。どういう方法がリスク少なく、コミュニケーションが取れて意見が出せるのかを考えていかなければならない。WEB 会議の可能性はこれから大きくなると思う。どのような環境を整えれば参加できるのか、それでもできない方は会場で参加してもら

うなど積極的に考えた方が良いと思う。やってみないとわからないこともあると思うので、本番会議ではなくても、試してみるのには良いと思う。今までの会議の進め方は、違和感があり、話しづらいと感じた。こういう話し合いでいいのかと感じていた部分はあった。グループ内では楽しく話しをしていたが、決まった人だけではなく、もっと他の人とも話したいと感じた。

会 長：最初にグループ分けされてしまったというのもあったが、まちづくりとしては1つの班であるので、お互いに意見を言い合えるような関係づくりをしていければ良いと思う。50年後、100年後の中標津を自分たちが作っていくという自負を持ってやっていかないとならない。

委 員：グループ分けをして、自分たちの意見だけで引っ張っていいのかなという疑問はあった。全体で様々なことを話し合ってから、グループに分けた方が良かったのではないかなと思う。

委 員：グループに分けて少人数で話し合うことは良いと思う。ただ、そのあとに全体を通しての意見交換などがあまりなかったのではないかなと思う。様々な方の話を聞くと、自分自身の中でも様々な思いが出てくると思う。

事務局：コンサルタントの話によると、最初は、みなさんから意見を出せるだけ出してもらおうという進め方をすると聞いていた。その後、スケジュール資料にも記載しているとおり、第5回の「分野別」のグループワークを用意していたと考えている。時間が限られていることもあり、今は出していただいた意見を吸い上げた段階で終わってしまっているのは事実である。その出された意見を今後どのように活用していくかはやり方次第になると思うが、コンサルタントと事務局で協議したい。

委 員：先日、都市計画マスタープラン策定委員会でオンラインと会場の併用で行われた。コロナの状況の中で、それを踏まえたチャンスを活かしたまちづくりを考えようというような話題の提供がありグループワークをしたが、不安がった意見もあったと思う。コロナがあったから変えていかないとならないこととコロナに関係なく変わらないことなどを整理しながら計画を作っていけるのではないかなと感じた。少しずつ様々な形で集まって、積み上げていければいいと思っている。

委 員：コンサルタントにお聞きしたいが、グループワークの時に違和感があり、その内容としては、「時間が来たのでまとめてください」や「もうみなさんからの意見は出尽くしたと思いますので」というような話があり、これでいいのかなと思った。このようなことをやっていこうという話し合いもあってもいいのではと思っている。コンサルタントの考えも聞かせていただければと思う。

コンサ：今までのやり方について、みなさんの発言の機会をある程度のところで止めてしまい、多少無理やり進めているという気持ちを持たれてしまっているとしたら、大変申し訳なく思っている。当然、やり方を変えた方が良いということになるが、みなさんの意見としては、相互のコミュニケーション、話し合いをしなければならないという意見があったように感じる。例えば、行政運営すべてに対しての議論はできないかもしれないが、このような議論がしたいなど、柱となるものを2、3本みなさんで決めてもらい、徹底的に話しをしようとするならば、こういう方向で町に進ん

でもraitaiというようにまとめる。今まではさせられていた感があったと思うので、納得できるまで話していただくというような感じで進めれば良いのではないかなと思う。

委員：テーマがあって、それに対して出た意見の良いところをかい摘んで、それをまちづくりの理想としているのではないかなと感じた。また、自分たちのグループの意見だけで終わって、他のグループの意見を見ると、様々な意見が出ていて良いかなと思う。

会長：先ほど、コンサルタントから委員側で2、3の柱を作って、それに沿ってやっていきましょうという話が出たが、結局柱から漏れる柱もある。コンサルタントが言う委員側が提示してくださいというのは逆にハードルが高いと思う。決まったことに対して、自分たちで最善策を考えていくというのを優先した方がよいと思う。確かに理想だけではだめだとは思いますが、そのようなところから始まるような気がする。子供たちや未来の人たちのために長く持続的に残していけるかということだと思う。

委員：夢は夢で終わってしまう。現実とのギャップはあると思う。理想に近づけられるようなテーマであれば、まちづくりに入れてもいいような気がする。

会長：贅沢品だったのがどんどん日用品になっていくのと同じで、50年後、100年後も存在するために、町もある程度スペックを高くしておかないとならない。

事務局：町民会議の中で、「理想の町とは」というのを聞かせていただきたい部分であり、それを実現できるかどうかというのは課題としてあるが、行政の職員の意見が出てこない、そのすり合わせができない。そこで、町職員と意見交換をする場などを含めながら、出来ることや改善点は何かという具体的な議論はやっていこうと感じている。ただ、3月議会定例会に向けてとなると時間足りないのではないかなと感じている。

委員：この町民会議で出た意見や内容は、今後町政についてどのように反映されるのか。例えば、会議で出た夢や現実、町がそれに向かって進んでいきますとなるのか、それとも最終的に予算がないので出来ませんとなるのか。ここにいるメンバーは何のために、どの方向性で進めばいいのか。こういう方向性を目指しているが、それに対して意見をくださいという方が意見を言いやすいのではないかなと思うがいかがか。

事務局：基本的な進め方については、当初の想定を含めた話になってしまうが、まずは、理想像で思っていることをざくばらんに話していただきたい。その後順を追って、深掘りしていきたい。ベースは理想の中標津町はなにかというところである。その後、町職員との議論の場を設けたときに現実的にどうなのか。町民会議で出た意見が、どれくらい町職員の認識から乖離している部分があるかわからない状況であるため、その差を埋めていくというイメージを持っていた。

会長：中標津町の基幹産業は農業である。農業主体とした町である。イメージとしては、一本の太い木がある（農業）。そこに幹や枝がある（トラクターや牛乳運搬者など）。枝の先には葉っぱがある（商業など）。そのようなお金を作る木を作りたい。テーマパークのようなものを作りたい。他のことはお金があればできることが多い。そのようなまちづくりがしたいと思う。

- 委員：なぜ空港から街中に行くバスがあるのに、逆方向の開陽台の方に直接行くバスがないのか。観光客にとっては不便のように感じる。他には、土日祝日にバスが運休するのは変。運休するバスは聞いたことがない。おかしいと感じる。
- 会長：バス運行しても、一人、二人程度しか乗っていない状況があるから、運休という決断をしたのだと思う。
- 委員：会長が言っていたテーマパークというのはすごく良いと感じた。町外から商売をしたいという方が来た場合に、街中は建物が混んでいてなかなか入りにくい状況である。そういったときに町として仲介できる仕組みを整えることによって、新規で始めたい方々の後押しができるのではないかなと思う。
- 会長：様々な意見があると思う。例えば、東武の駐車場を活用して、若い人たちが楽しめて飲食ができるテント村のようなものを作るのも良いのではないかなと思う。相変わらず雑草が生えて、放置状態になっているというのはもったいないと思う。開陽台に関しては、景色は魅力的だけれどもそれ以上に何かあるのかって感じがする。
- 委員：旅行者としては、開陽台から養老牛を回って、計根別の方に行きたいという意見もある。地域を回るバスならば、大型ではなくても、マイクロバス、コミュニティバスで十分だと思う。そのあたりを見直すべきではないかなと思う。
- 委員：まだこの時間に声を発していない方がいると思うので、話を聞きたいと思う。あと、総合計画ってどんなものという話があったので、自分なりに解釈したことを話させてもらう。例えば、テーマパークを作るとする。まず観光分野のことが必要になる。そうすると宿泊施設などが必要になっていくし、他には住んでいる人たちの学校などの教育の場なども必要になってくる。それらの計画が総合計画となる。財政困難の中で役場の役割として町民ができないこと、利益にならないことをやっているけれど、それを担うために「協働」が必要である。そこで町民会議があり、一緒にやっていこうとなる場であると思う。
- 委員：総合計画策定に向けての時間が足りないと思う。計画の冊子を完成させるのは、そもそも難しいことである。大雑把に町民会議で話し合っ、審議会等で調整して、最終的にまとめるのはコンサルタントの仕事であるというので間違いないか。
- 事務局：基本的な考え方は合っている。時間が足りない中でどのように冊子を作り上げていくかということだが、令和3年度から第7期総合計画がスタートとなった場合、すべての物事がそのタイミングで変わるわけではない。第6期総合発展計画で続けてきた施策をどのように少しずつ変えていくのかという考えになる。ベースは第6期総合発展計画である。今ある施策をやめることもあるし、新たに始める施策もある。
- 委員：ある程度引き継いでというのは、今までも同じやり方だったのか。
- 事務局：第5期から第6期計画に変わる時も大きくは引き継ぎながら、新たなキャッチフレーズに向かって策定していた。今回も骨格は引き継ぎながら、必要なもの、変えていくものというのを具体的に話していく進め方をしようと考えている。今後の進み具合やコロナの状況にもよるが、12月ごろには町民会議、審議会、町職員の合同会議を開催したいと考えている。都市計画マスタープランとの関連性については、事務局とも相談しているところだが、意見交換の場があると良いという話をしている

ので、検討中である。総合計画は都市計画マスタープランとの整合性を持たなければいけないので、情報提供、情報交換をしながら進めたいと思っている。

委員：このコロナの状況があり、一度立ち止まってこのような話し合いができることは非常に良いことであると思う。今後の進め方の部分でいうと、当然回数も今のままでは足りなくなっていく中で勉強会など開催するのは良いと思うが、「発言力のある人の意見が活かされるのはどうか」というのに引っかかっている、集まるのであれば、全体で集まった方が良いではないかと思う。今コロナで様々なことが変わっていかねばならない状況の中で夢や将来像などのポジティブで前向きなことを話し合う場であると思うので、意見に対して否定などせず、最終的にまとめていく会議が出来れば良いと思う。

委員：他の町民は、このような会議が開かれているのを知っているのかと疑問に思った。知らない人がたくさんいるのではないかと思う。開催された内容を町民にも伝えることができれば、町のことに興味を持ってもらえるのではないかと思う。町の人々が、様々なことを実現できるような、やりたいことを結集できるような町になれば良いと思った。

委員：流れに沿って進めていくとなるが、大きな道筋が決められていて、部分で我々の意見が吸い上げられていくのではないかという考えを持っていた。このような立ち戻った議論がされるのは、意外であった。コロナ禍で様々な見方が変わっていく中で今まで議論した中身も大きく変えなければいけないこともある。逆にいい機会であり、チャンスなのかなと感じている。ただそれには時間が少なすぎると思う。ある程度はまとめていかなければならないとは思っている。

委員：空港があるというのもあり、根室管内では中心の町であるので、周りの町からや道内、道外からきてもらうように、自分なりに意見を出して、話し合いをして、少しでも良い町を作っていきたいと思っている。

委員：アンケート結果の自由意見の中で「コンサル主導の形式的な議論が行われている印象がある」などの感想を抱いているということは、もう少しやり方を考えなければならないのではないかと思う。まちづくりということで、安心して住み続けられる町というのが目標だと思うので、それに近づけられるように。財政面が厳しいのであれば、町民の知恵を出せばいいと思う。この町は後から付いてくる人はいるが言い出しっぺがいないと言われている町なので、その部分も解消できればいいと思う。みなさんの意見を聞きながら、考えていき進めていきたいと思う。

委員：このような会議は初めての経験ではあるが、第2回の会議でグループワークをするということで、戸惑いながらやっていて、違和感があった。みなさんも違和感を持っていたということで、少し安心した部分もある。ただ、その中でも自分の意見を出したつもりなので、無駄になったとは思っていない。今後の会議の進め方に関して、50年後住みよい中標津を作ろうという議論を進めていくような話もあるが、喫緊の課題もこの町は抱えているのではないかと考えている。病院の関係や若者の雇用、計根別では光回線に関する署名を集めるなど、地方にもさまざまな問題を抱えている。このような会議の場は非常に良い場であると思っているので、様々な意見

が出た中でみなさんと議論していければすごく良い会議になるのではないかと思います。

委員：役場に「福祉のまち中標津」という看板が無くなったことに違和感がある。病院が一番気がかりである。お年寄りの足が無くなったときにどうなっていくのか。どうすればお年寄りに優しい町になれるのかというのを思いながら、様々な方の話や社会福祉協議会の意見や知恵を借りながらやっている。

会長：これでみなさん発言をいただいたところですが、最後に言い忘れたことはないですか。

委員：都市計画マスタープランのプロジェクトチームの案内をさせてほしい。その場で自分の興味のある内容に参加したり、町民会議の委員として他の方の意見を聞けたらいいのではないかと思います。

(3) その他

次回会議日程は8月末予定となります。

4 閉会

中標津町まちづくり町民会議 検討進捗状況

第2回町民会議

各グループにわかれてテーマを決めグループワークを実施。様々なまちづくりへのご意見をいただきました。

Aグループ：未来の中標津ってほしい町

Bグループ：これからの中標津をどうしていきたいか

Cグループ：未来はこうなってほしい

Dグループ：住みやすい街 中標津となるべく問題点を知る



第3回町民会議

「まちの目指す姿」についてグループワークを実施。各グループにおいて下記のとおり町の将来像を検討いただきました。

【Aグループ】

『人に優しいまち』

温故知新—今まで中標津を作り発展してくれた人達の志を受け継ぎ、
新しくチャレンジしていける町へ。
人と人がつながって輪になる未来へ。

【Bグループ】

『有言実行・なかしべつ』

年齢・性別に関係なく、(個人・企業・町)全体で情報発信ができて、受け取れる。
農業を中心に様々な事柄に対して意欲的に取り組める。

【Cグループ】

『戻ってきたいと思える誇りある中標津』

↓ そのために

便利さちょっとでいいから古き良き時代を見習おう

【Dグループ】

『パートナーシップのまち～空とみどりの中標津』

A 班

【中標津町に提案する将来像案】

『人に優しいまち』

温故知新—今まで中標津を作り発展してくれた人達の志を受け継ぎ、
新しくチャレンジしていける町へ。
人と人がつながって輪になる未来へ。

〔検討意見〕 ※漏らさずご記入ください。

- 運動施設の活用の為に合宿施設等の整備を。
- チャレンジできる町という、若者への意識付の為に、補助金の制度見直し。
- 情報開示が少ない。
- 役場に総合窓口を!! 町外の方にも、年配のかたにも優しい対応。
- 中標津の情報と魅力を内外に伝えるパンフレットや施設の紹介（美容室、衣食住など）程度でも。
- 保養を目的としている方にとって、すごく住みやすい町だが、シェアハウスや施設等の紹介が必要。
- 人にやさしい。
- 技能を若い人に伝え、継承していく場。
- 人と人がつながり、発展して行く方向へ

町が1度成長しつくした?! それからの発展の方向性。

町民が、自分の町の楽しさを他の町の人に伝えられない（あまり知らない）。

改善スパンが10年だと、新しい課題が出てきた時に対応できない。
5年スパンくらい、もしくは中間で反省を含め、見直しが必要ではないか。

B 班

【中標津町に提案する将来像案】

『有言実行・なかしべつ』

年齢・性別に関係なく、（個人・企業・町）全体で情報発信ができて、受け取れる。
農業を中心に様々な事柄に対して意欲的に取り組める。

〔検討意見〕 ※漏らさずご記入ください。

人口減を
魅力ある街
地力

役場の改革が必要
教育費けずるな

農業 南道路 1 号→ストーリーある
→中標津の柱 体験ができる
農業のテーマパーク

中標津の魅力とは？

決めるのが老人

星がきれい

都会につかれた人

議員を減らして

星のふるさと

仕事 ブロードバンド

報酬を増やす。

企業誘致

発信が弱い

ミルクロード

ーインバウンドー

子育てしながら、女性が働きにくい

コミュニティに入られない。

転勤してきた人 子ども連れが残りたと思ってくれたらいい

夜間保育 バランス 自分から動かないと情報が入ってこない。

発信が足りない。 予算のかけ方どうなの？

サイレントマジョリティーの意見を吸い上げられる様にしてほしい

発言力のある人の意見だけが生かされるのはどうなの？

町会議員の年齢が高い 定年が必要では？

計根別農高の通学の問題 農業高校の魅力発信 病気になった時に困らない。

〔子育て〕〔農業〕 ・他町村との協力

農業ファッション 中標津にしかないもの 中標津発

家賃高く、賃金やすい、格差が大きい。

中標津フレックスな働き方 街中にバンガロー

企業内保育所の充実

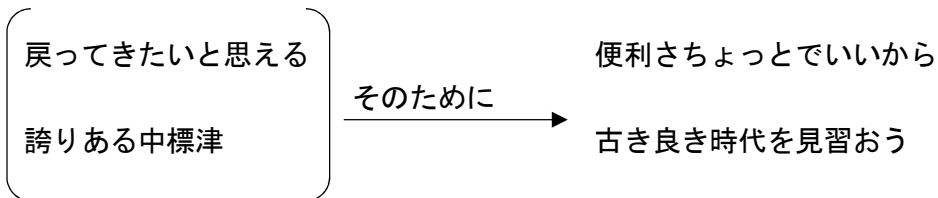
長期滞在

情報発信の強化

情報を受け取る側の準備が必要

C 班

【中標津町に提案する将来像案】



〔検討意見〕 ※漏らさずご記入ください。

住みやすい町 中標津は住みやすい
 気候がいい（夏の臭いはつらいけど）
 改善できるといいな
子どもが外で遊べるように、親の意識も変わってほしい
通学は便利になった
コンパクトにまとまっている
コミュニティバスがほしい 免許返納後の対策
保健・医療・福祉への不満多い
夢の森公園 人が集まる
母子家庭多くなってきた 虐待も多い
子どもが戻りたくなるように
働かないで職を選んでいるのではないか
学力低い 体力低い（子どもの）
子どもの食生活がひどい
便利だけではダメ

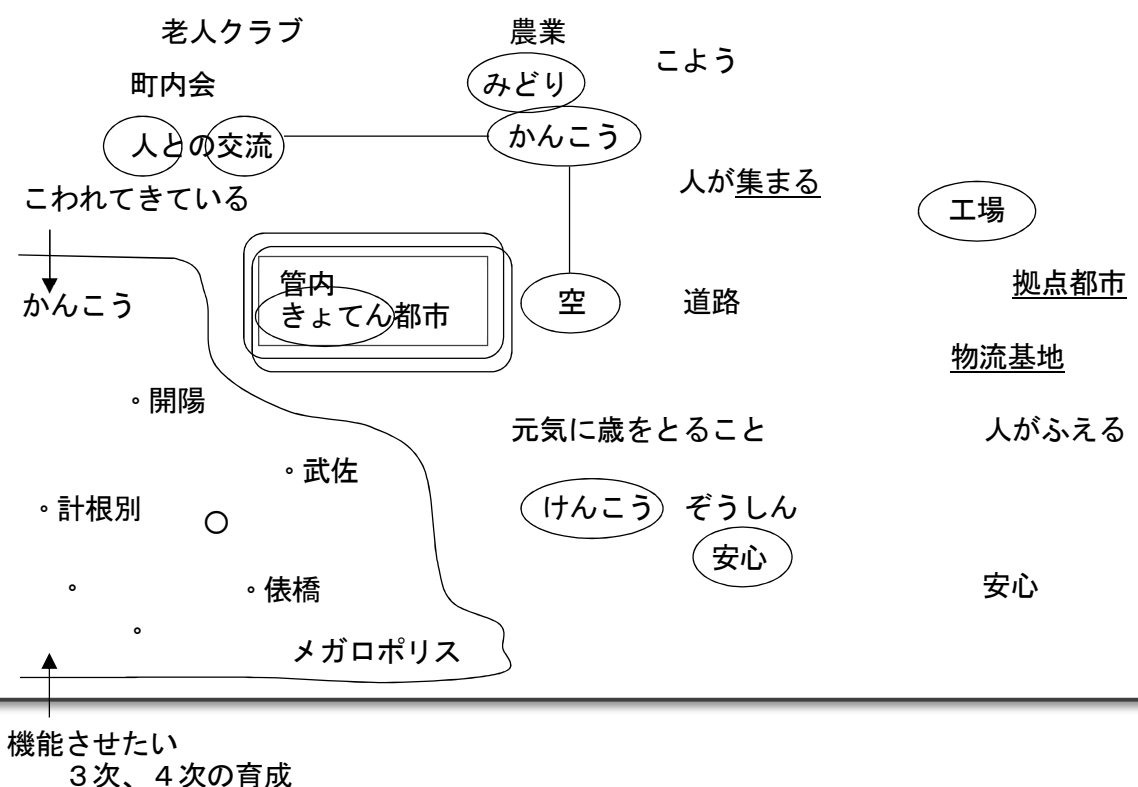
D 班

【中標津町に提案する将来像案】

パートナーシップのまち～空とみどりの中標津

〔検討意見〕 ※漏らさずご記入ください。

- ・元気に歳をとること。
 - ・管内の中心の町として
 - ・空
 - ・みどり
 - ・安心
 - ・交流
 - ・物流
 - ・健康増進
 - ・まわりの町との交流
- 人づくり・ものづくり
 - パートナーシップ
 - 協力関係
 - ・星空



計画策定スケジュール

	令和元年度										令和2年度												令和3年度		
項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
実施内容																									
町民・中高生アンケート	送付	回答	集計・分析				報告書																		
第6期総合発展計画検証				検証シート作成		ヒアリング・分析		調整																	
総合発展計画審議会							●	新型コロナウイルスにより中断								●	●	●	●	●	●				
まちづくり町民会議						●	●	●	新型コロナウイルスにより中断							●	●	●	●	●	●				
庁内会議(策定会議・策定委員会・策定推進委員会)										●						●	●	●	●	●	●				
パブリックコメント																				●					
計画策定状況																									
基本構想								作成	新型コロナウイルスにより中断								作成			調整			議会提案	第7期計画スタート	
前期基本計画(骨子案)									新型コロナウイルスにより中断								作成								
前期基本計画(素案)									新型コロナウイルスにより中断											作成・調整					

中標津町まちづくり町民会議スケジュール（予定）

年度	回No.	想定する内容事項	開催時期
R 2	5	○将来人口推計課題説明 ○現計画達成状況調査結果報告 ○グループワーク「まちの目指す姿」※分野別	令和2年8月
	6	○「まちの目指す姿」についてのまとめ	令和2年9月
	7	○基本構想骨子案説明 ○グループワーク「分野別重点課題」（※検討）	令和2年10月
	8	○基本構想（修正案）説明 ○前期基本計画（骨子案）説明 ○グループワーク「分野別重点課題」（※修正検討）	令和2年11月
	9～	○基本構想（案）最終調整 ○前期基本計画（案）最終調整	令和2年12月 ～令和3年1月